

特集

最高の朝に 出会える宿

ゲストハウス 古民家江口屋



霞ヶ浦の湖畔にある、築100年以上の元造り酒屋の建物を改装したゲストハウス「古民家江口屋」。地方創生の取り組み「古民家を活用した茨城ブランド力向上事業」の県内モデルケース第1号として、茨城県と共同で改修し、令和2年7月にオープンしました。

関東を中心に関西や四国からもたくさんのゲスト（お客さん）が訪れ、この宿で「最高の朝」と出会っています。

「最高の朝」は「最高の1日」のはじまり

日本で2番目に大きな湖・霞ヶ浦が目の前にあり、そばには「つくば霞ヶ浦りんりんロード」もあります。朝は霞ヶ浦からの最高の朝日を眺め、朝食はかまどで炊いたご飯や地野菜の味噌汁、新鮮なシラウオなど、地域の食材を堪能でき、早起きするのが楽しみになる「最高の朝に出会える宿」です。

気持ちの良い朝は、最高の1日の始まり。静かなくつろぎ、外遊びの楽しみなど、思い思いの素敵な時間を過ごすことができます。

この地で味わえる「田舎暮らし体験」

- 無料** 薪割り体験（宿泊者限定）
- 有料** 石窯でピザ作り、ソーセージ作り、焚き火体験、流しそうめん、スイカ割り ※季節ごとに異なります。



所在地 かすみがうら市坂 895-1（歩崎公園駐車場から徒歩1分）

予約 ☎ 080-9095-7800 ※料金や宿泊プランなどの詳細は、ホームページをご覧ください▶



古民家江口屋



インタビュー

— 最高の朝に出会える宿でゲストを迎える「江口屋の女将さん」 —

女将
もりた ちあき
森田 千亜紀さん

— 女将になったのはご自身の経験がきっかけと伺いましたが、どのような体験をされたのですか？

森田さん：平成29年に、約1年かけて20カ国以上の「食卓を巡る旅」をしました。さまざまな家にホームステイをし、たくさんの方に迎えられました。その際、地元の方との出会いや現地ならではの体験が好きになったんです。日本に戻ったら、今度は私が人を迎える立場になりたいと思いました。そんなときに出会ったのが、この古民家江口屋です。



京都府出身。古民家江口屋と縁ができたことで、令和2年に都内から本市へ移住した森田さん。

江口屋の指定管理者・株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーへ入社し、「江口屋の女将さん」として、たくさんのゲストを迎えています。

— 森田さんにとっても、江口屋とは「最高の出会い」だったんですね。では、どのように江口屋と出会い、かすみがうら市へ移住したのですか？

森田さん：日本に帰国してからはホテルで働いていたのですが、大きな「ハコ」にいるより、よりローカル（地域性）を感じる場所で人を迎えたいと思っていました。そんなときに、古民家江口屋とご縁ができ、「移住してチャレンジしたい！」と、かすみがうら市で働くことを決めました。

— 今やかすみがうら市の観光スポットとして、さまざまなゲストを迎えている江口屋ですが、その魅力はどんなところですか？

森田さん：静かな空間でリラックスしたり、おいしい地元のご飯を味わえることはもちろんですが、やはり人と人、人と地域がつながり、縁が生まれることが魅力です。たまたま同じ日に宿泊したゲスト同士で交流が生まれることもあります。

新たな挑戦へ



① 江口屋のそばにあった建物が、造り酒屋の歴史を受け継いだ醸造所に ② 木の香り漂う醸造所の2階は試飲スペースやワーケーションができる場所として活用予定 ③ 自ら県外へ修行に向っていた経験から、ビール造りを熱く語る森田さん

かつてこの地にあった歴史を受け継ぎ、伝える

明治後期に建てられた江口屋の趣ある建物は、かつては造り酒屋でした。「江口屋」の名前も、造り酒屋時代の屋号が由来です。

この点に目を向けたかすみがうら未来づくりカンパニーの今野浩紹代表は、「地域を感じられ、思い出に残るような商品や体験は作れないだろう

か」「江口屋のそばにある立派な蔵を改装してビール造りができないだろうか」と考え始めたそうです。

こうして、令和3年から「地域密着型のマイクロブリュワリー」として「酒造り」への挑戦を始め、そして今年2月、「江口屋醸造所」として、新たなスタートを切りました。



歴史を感じさせる酒屋時代の看板

「江口屋醸造所」ストーリー

令和2年

クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」で資金を募り、182人の支援の輪が広がりました。集まった233万円の資金は、醸造設備の購入に使われました。

令和3年

森田さん自らが醸造を学ぶべく、岐阜県瑞浪市釜戸町の「カマドブリュワリー」へ修行に行きました。

令和5年

手探りの中、さまざまな事業者が醸造設備の設置に関わり、ついに江口屋醸造所の看板を掲げました。醸造免許も取得し、本格的にビール造りがスタートしました。

待望のビールが完成

3月21日頃から、2種類のビールが販売される予定です。

- ◆クラフトビールの王道「ペールエール」
 - ◆地元の農家さんのゆずを使ったフルーティーな「霞ヶ浦ゆずエール」
- 販売場所：古民家江口屋、畔の駅 コハン ※今後、WEBでの販売も予定
- 江口屋で、遊んで、泊まって、ビールで「乾杯！」しませんか？

☎ かすみがうら未来づくりカンパニー ☎ 029-840-9010

※江口屋醸造所で販売されるのは、発泡酒となります。



「霞ヶ浦ゆずエール」のラベル（※イメージ）

第18回

市民マラソン大会



フォトアルバム ムービー



2月4日、3年ぶりとなる「市民マラソン大会」を開催し、老若男女のランナーが、多目的運動広場や一般道を駆け抜けました。

子ども達がタイムや順位を競いあったり、親子マラソンやチーム対抗の駅伝で絆を深めるなど、沿道からの応援を背に、思い思いの走りを楽しんでいました。



大会結果

※敬称略

小学生の部（1～6年生）

- 男子A (1・2・3年) ①小野寺謙介 ②高崎侑 ③宇津木俐祇
 女子A (1・2・3年) ①飯村優乙 ②坪井蘭 ③宮本采奈
 男子B (4・5・6年) ①藤井蒼空 ②酒井優輝 ③車田陽登
 女子B (4・5・6年) ①木下実祐 ②大竹柚花 ③豊崎ほのか
 男子駅伝 ①千代田サッカー少年団A ②千代田サッカー少年団B ③千代田サッカー少年団D
 女子駅伝 ①霞ヶ浦 STC A チーム ②かすみがうら南J・ラビッツ ③霞ヶ浦ハンドボールクラブ
 男子親子マラソン ①砂岡諒・和也 ②埜口篤人・浩市 ③田鎖新・佑一
 女子親子マラソン ①石井結梨・幸宏 ②櫻井碧・博史 ③今井咲桜・達郎

中学生の部（7～9年生）

- 男子 ①長島司 ②山本蒼空 ③鈴木快青
 女子 ①高野玲菜 ②市村沙也香 ③鈴木望乃春
 男子駅伝 ①霞ヶ浦 RCJH 男子 ②下稻吉中サッカー部 ③下中ハンド・ジークスター
 女子駅伝 ①霞ヶ浦 RCJH 女子 ②THE柔道部 ③下稻吉中女子テニス部

一般の部

- 男子 ①大竹宗真 ②鶴田勇樹 ③辻井正紀
 女子 ①寺前裕子 ②森作節子 ③飯島理江
 男子駅伝 ①謙虚 ②誠実 ③出島走友会 A
 女子駅伝 ①☆陸上 girl ☆

